

自由民主党福岡市議団

令和の米騒動ともいわれる米価の高騰をはじめ、日々の暮らしを脅かす物価高騰の影響が長期化・深刻化する中で、会派の令和7年度予算要求では、子育て世帯の可処分所得を増やすことなど支援の強化を求め、2学期からは学校給食費の無償化が実現することとなりました。今後も引き続き、年金などの社会保障を頼りに生活される方々の暮らしや、地場の中小・零細企業の経営を支える観点で、市に対して積極的な施策展開を求めてまいります。

かつてシリコンアイランドと呼ばれた九州で、半導体産業の急速な再興の動きが見られる中、本市にも関連事業者が立地するよう、産学官を挙げて取り組む必要があります。私たち自由民主党福岡市議団は、都市の成長に向けた新たな可能性を常に模索するとともに、農山漁村地域も含めた本市全体の均衡ある発展を実現するため、バランスの取れた市政運営を心がけ職務に精励します。



ホームページ

公明党福岡市議団

世界では、今なお各地で紛争が続き深刻な人道危機が発生する中、国際社会の平和と安定へ日本の役割も重要な局面を迎えています。

このように国際的な問題の影響でエネルギーや原材料価格の上昇、さらには物価の高騰が私たちの生活や経済活動に大きな影を落としています。そういった厳しい状況下だからこそ、福岡市が取り組む施策を力強く実行し、積極果敢に挑戦することが市民の皆さまの生活や財産、そして生命を守ることにつながると確信いたします。

今こそ、政治がその責任を果たすべき時です。

私たち公明党福岡市議団は、市民生活の中に入り込み、お一人お一人の意見・要望に寄り添い、耳を傾け続けてまいりました。

これからも市民の皆さまが、将来に希望を持ち、笑顔があふれ、安心して暮らすことができる福岡市の実現を目指して、これまで以上に福岡市政発展のために全力を尽くしてまいります。



ホームページ

日本維新の会福岡市議団

私たち日本維新の会福岡市議団は、従来のしがらみのある政治にとらわれず、市民の皆さまにとって何が本当に必要な政策なのかを考え、是々非々で進めていく政策集団です。

令和7年度予算等におきましては

- 持続可能な行財政運営のため財政健全化の推進
- 都市の魅力向上も含めた経済活性化の推進
- 教育・子育て支援をはじめとした次世代への重点投資
- 激甚化・頻発化する災害の地域防災・減災対策の充実などを基本軸に置き、適切な予算措置を求めました。

先行きに不透明感が拭えない昨今において、多くの諸問題に取り組んでいくためにも令和7年度も全力で励んでまいります。

ぜひ、皆さまの忌憚のないご意見・ご要望をお聞かせください。本年度もよろしくお願い申し上げます。



ホームページ

自民党新福岡

福岡市はこれまで目指す都市像として「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」を掲げ、都市づくりに取り組み、結果、全国でも最も元気なまちとして評価されています。

一方、わが国の状況は加速する少子高齢化や、国際的な物価高への対応、多くの災害をもたらす気候変動など、待ったなしの状況です。

これからの時代、想定外の変化にしなやかに対応し、強かにチャレンジしていくことが求められます。

令和7年度一般会計予算では、まちのレベルをもう一段押し上げることで併せて、子どもや子育て世代、防災といったさまざまな分野において、きめ細かな施策を積極的に進める必要があります。

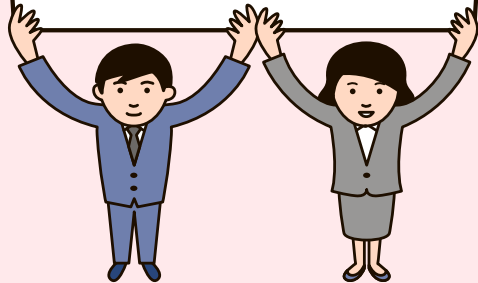
われわれも市議会議員としての役割を自覚し、地域の声をしっかりと行政に届けながら、この住みやすいまち「福岡」を将来に引き継いでいくため、全力で取り組んでまいります。



ホームページ

会派の主張

令和7年度予算案・
条例案や市政に対する
各会派の主張です。



福岡市民クラブ

元気といわれる福岡市ですが、市民生活は物価高などの影響を大きく受け大変な状況です。財政は好調ですが、将来的に社会保障費や施設の維持改修費などが膨らむ見込みとなっており予断を許しません。持続可能な福岡市の発展を促すため、【生活保障】一人ひとりの暮らしと幸せを大切にする社会、【成長】人と技術の結びつきが新たな価値を生み出す創造都市、【地域】市民が自ら発信し議論し決定する仕組みづくり、【共生】一人ひとりの生命と尊厳を守る安心・安全な基盤づくり、以上の視点から政策提案を行います。

令和7年度は行政運営の最上位計画の一つである「第10次福岡市基本計画」がスタートする年であり、それに対応した分野別の計画も策定されます。会派の理念が各種計画に反映されるよう積極的に発信していくとともに、働く者、生活者の目線に最も近い会派であるという自負を持ち、市民生活を最優先に考えた政策実現を目指します。



ホームページ

日本共産党福岡市議団

物価高騰が長引くもと、暮らし応援にこそ優先的に税金を使うべきです。わが党は高齢者乗車券の拡充や上下水道料金の減免など、暮らしを直接応援する施策や、市として国に、消費税減税や中小業者支援と併せた最低賃金の大幅引き上げを求めることを提案しました。一方で、大企業だけが潤い、異常な地価上昇を招く「天神ビッグバン」などの大型開発などに莫大な税金をつぎ込むことや、歴史的根拠もなく、「天守閣ありき」で巨額の税金をかけて行う福岡城天守調査や「ライトアップ事業」はやめるよう主張しました。そして、市内経済活性化のためにも、地域の中小業者応援を強め、保育・福祉・介護などへの支援を充実するよう求めました。また、公的備蓄の抜本増など防災対策強化を要求しました。

その他、ジェンダー平等の市政実現や非核平和都市宣言を行うことなど、今後とも市民の切実な願い実現に向けて全力を挙げます。



ホームページ

新しい風ふくおか

誰もが心豊かに生きやすい「ふくおか」の実現には、地域課題の一つ一つに対して丁寧に向き合っていくことが大切です。一方で、人口構造の変化や先端技術の進展、世界情勢や地球規模の環境変化など、私たち市民の生活に影響を及ぼす外部環境の動静にも対応していく必要があり、長期的・大局的な視座を伴う行政運営が今後より求められます。新年度予算編成では、高齢者の健康と生活を支える取り組みや、将来を担う子どもたちを支える教育予算・子育て支援の拡充、障がい児・者やそれを支える家族への寄り添い支援など、人を大切にする行財政運営を求めました。併せて、将来の持続的な歳入確保のために、経済循環を回し続ける促進策や新たな価値を生み出すイノベーション分野への積極的な予算措置が図られるよう要望したところです。これからも「都市の成長」と「人への優しさ」、両輪のバランスの取れた福岡市の政策実現に尽力致します。



ホームページ